

地域の人材育成の工夫について

生駒市役所福祉支援課
田中 明美

1

生駒市の概要

- 生駒市は京阪奈に囲まれた近畿のほぼ中央に位置
- 人口: 115, 482人
- 高齢化率: 17% (16. 98%)
- 要介護認定率: 17% (17. 04%)
(平成18年5月1日現在)
- 地域包括支援センター: 6法人に委託

2

介護保険の改正を転機に・・・

介護保険の基本理念
できる限り在宅で自立した日常生活
を継続できるように支援すること・・・
介護保険法第4条

3

介護保険の改正に向けて・・・

- 地域資源が不足？
- 保険者の果たすべき役割？
- 介護予防事業の見直しと再編に向けての準備？
- 報酬単価を頭に入れると？
- 介護予防の概念・目的？

4

地域の社会資源に向け発信(研修会・活動支援)

【対象】

- 地域包括支援センター
- 介護支援専門員
- 通所系サービス提供事業所
- 地域のボランティア

制度改正の内容や介護予防の概念、その目的や意義について理解を促す研修会・説明会を実施

5

生駒市での取り組み (H17.12～)

その1

【事業所等に向けて】

- 介護予防モデル試行事業の実施を6法人に委託
(包括準備担当者・通所系サービス担当者等)
- 生駒市オリジナル「新予防給付ケアマネジメントマニュアル」を作成し、地域包括支援センター準備担当職員・介護支援専門員等への研修会を実施
- 生駒市オリジナル「新予防給付選択メニュー実施マニュアル」を作成し、通所系サービス事業所等への研修会を実施

6

生駒市での取り組み

その 2

【地域住民・ボランティア等に向けて】

- 介護予防講演会の実施
- 介護予防普及啓発用冊子・ビデオ等の作成
- 住民主体の介護予防教室への活動支援
- 地域ネットのつどい開催(ボランティア交流会)
- 新たなボランティアの養成・育成
- 介護予防モデル試行事業への協力依頼

7

地域包括支援センター職員と地域の ボランティア等との連携

- インフォーマル資源の位置づけにある、住民主体の「介護予防教室・ボランティア」のリーダー会議で顔合わせ
- 介護予防普及啓発グッズを包括に配付(ボランティア活動支援の実施)
- 介護予防のノウハウを包括より提供

8

「介護予防支援の充実」
「地域のネットワーク作り」を目指し...

- ・ インフォーマルサービスを含めた、
既存の事業を見直し・再構築

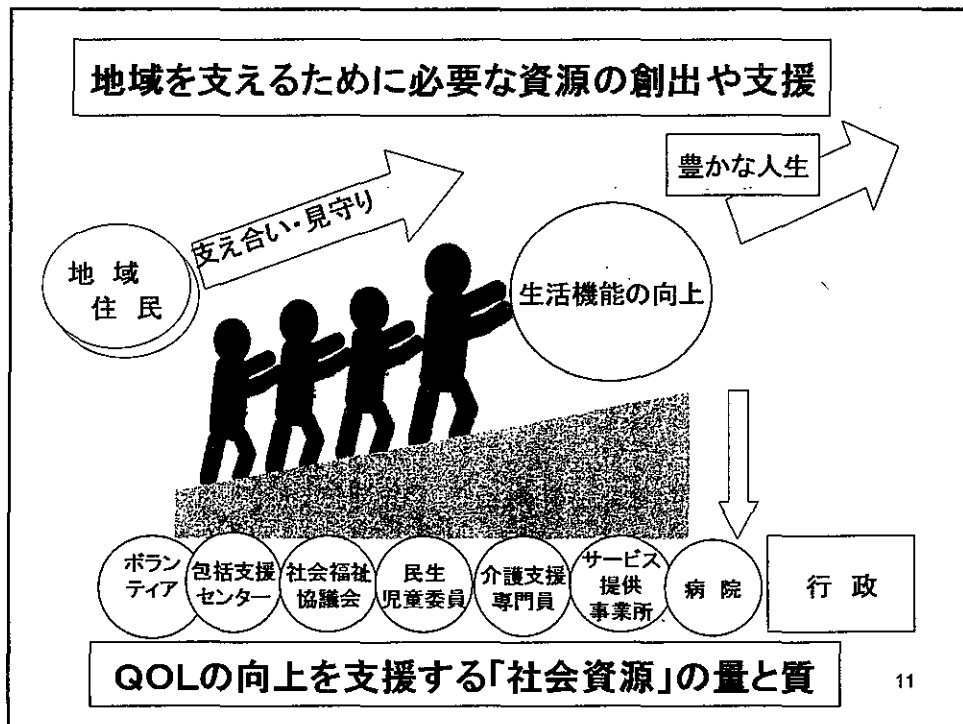
ただし...

9

地域資源を作り出す試み
(H17.12以前～)

- ・ 在宅介護支援センターの機能を強化・充実させてきた歴史
- ・ 「介護予防」や「地域のネットワークづくり」をキーワードとした長く地道な活動の成果
- ・ 常に「目的」「目標」「予後予測」を押さえながらの事業計画(企画と運営)と評価
- ・ 人脈・社会資源の有効活用
- ・ 保健・医療・福祉の連携
(介護予防試行検討委員会の実施等)

10



大切なことを把握して・・・サポート

各関係機関・資源と連携しながら...

- 目指すべき方向・・・目的・理念・概念等を明確に伝える
- 必要なノウハウの提供・指導
- 今ある社会資源の有効活用
- ほかに必要な社会資源の創出
- それぞれの連携のために必要な

しかけ

12

結 果

- 介護予防ケアプランがスムーズに移行
- 新予防給付「選択メニュー」が徐々に定着
- 介護予防ケアプランと選択メニューの個別計画書との連動
- 介護予防モデル試行事業からの学び「右肩下がりの高齢者」のイメージを脱却
- 一部の事業所では、介護予防に関する職場内研修会や利用者向け、セルフケアメニューを作成するなどのボトムアップ
- モデル事業時代のボランティアの一部が事業所に残り、「選択メニュー」への取り組みを支援
- 地域支援事業への関心がボランティアに広まり、介護予防教室等の充実化

13

地域包括支援センター 3職種の特性を生かして・・・

それぞれが協力し合いながら
主役割の分担を始めている

14

保健師等・・・

- ・ 介護予防ケアプランを重点的に・・・
- ・ サービス提供事業所や医療機関との連携・連動
- ・ 再委託先の「ケアプラン」・チェック機能
- ・ 介護予防の概念・制度改正への理解を求める丁寧な関わりと動機付け
- ・ 7月予定の居宅介護支援事業者協会等の研修会では、エリア内の介護支援専門員とケアプランの立て方や動機付け等に関するグループワーク等でリーダー的な役割を担うことを目標に・・・

担当課として・・・定期的な担当者会議の開催・ケアプランの助言・指導
介護予防検討委員会等の開催(介護予防の確立)

5

社会福祉士について

- ・ 「ケアマネハンドブック」改訂版作成作業や自己評価表の見直し・作成作業
- ・ 「介護予防教室」等の企画を通して、地域とのネットワークづくりの推進
- ・ 既存ボランティア等との連携及び支援
- ・ 7月～予定の【地域ボランティア講座】(連続10回講座)に全回、スタッフとして参加
- ・ 権利擁護・総合相談等の対応

16

主任ケアマネについて

- 困難ケースの支援を通して、ケアマネ支援
- 担当者会議への出席
- ケアマネハンドブック改訂作業への参加を通し、新米ケアマネの支援
- 福祉サービスの相談窓口およびコーディネート
- 介護予防教室等をとおして「地域のネットワークづくり」を推進

17

3職種連携

- 3職種それぞれが主とする役割をしっかりと担いながら、お互いが協働・連携していくことが、【地域包括支援体制】の整備には不可欠（※専門分化することではない）

(例)保健師がたてた「介護予防ケアプラン」…インフォーマル資源の不足から地域への発信の必要性を感じたら、他の職種と連携してそのことを発信…地域の資源を発掘・創出

地域に出向く「介護予防教室」…様々な啓発もかねて社会福祉士を中心に他職種も連携して共に企画・参加など

18

既存ボランティアへの期待

- 6月～一般高齢者施策「体操教室」の開始
- 自主運営の「介護予防教室」の拡大と機能の充実
- 「運動器の機能向上」OB会メンバー30人の活動支援
- 介護予防普及啓発冊子・手作り介護予防グッズの作成
- インフォーマル資源として、地域包括支援センターとの連携

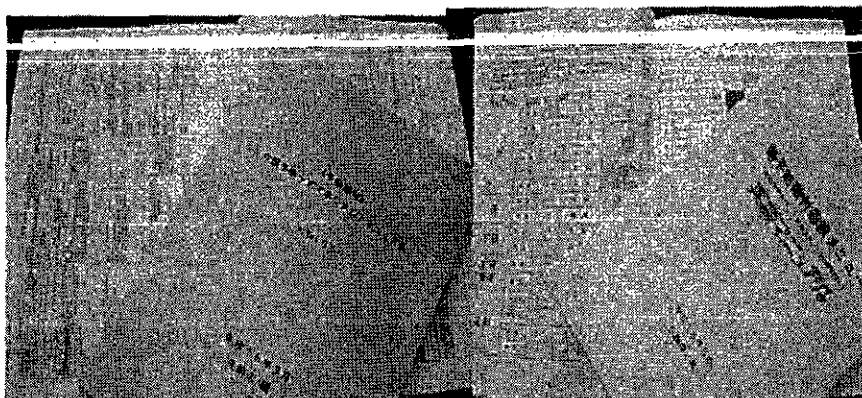
19

住み慣れた地域でいつまでも
自分らしく暮らせるように…

参 考 資 料

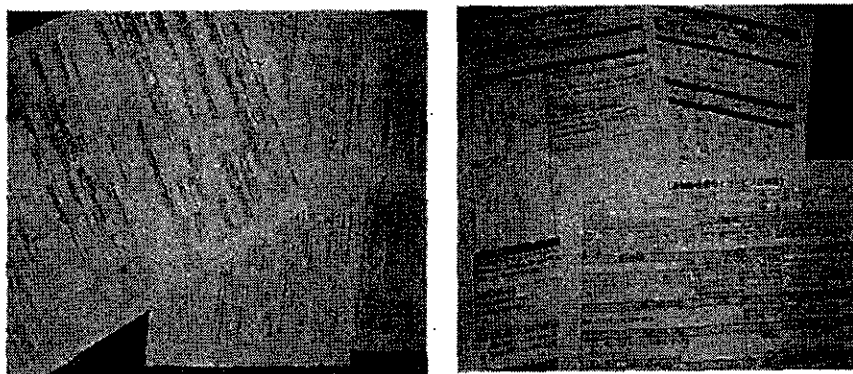
20

(左)新予防給付ケアマネジメントマニュアル
(右)新予防給付選択メニュー実施マニュアル



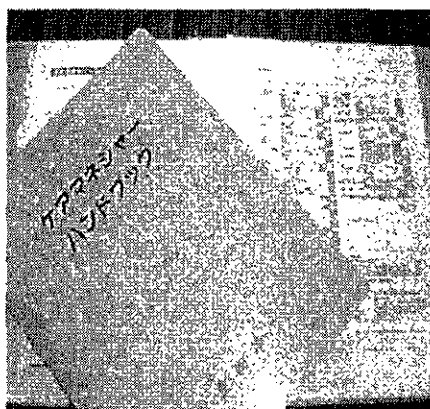
現場の声も反映しながら・・・

(左)介護予防ケアプランと
(右)個別サービス提供書との連動

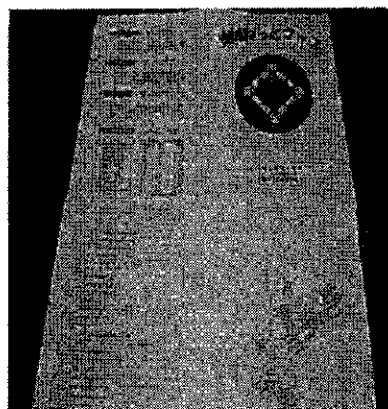


包括担当保健師等や事業所スタッフの力を借りて・・・²

(左)ケアマネハンドブックおよび
(右)地域ねっとのマップ

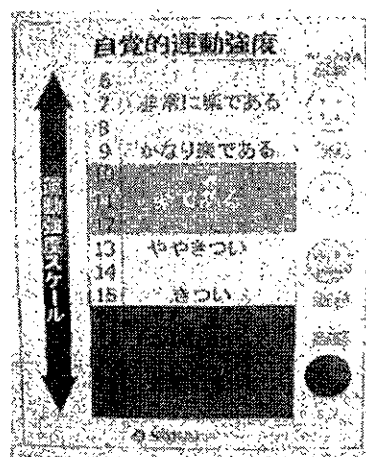
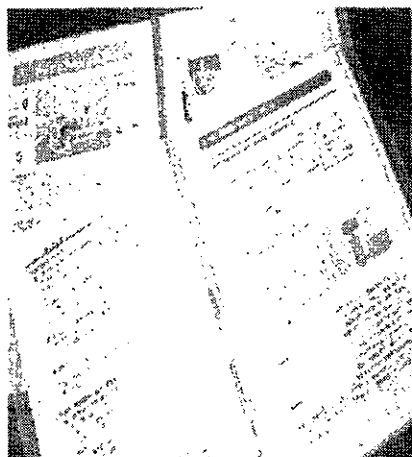


主任ケアマネ・社会福祉士
介護支援専門員・市職員協同



住民主体の地域活動マップ

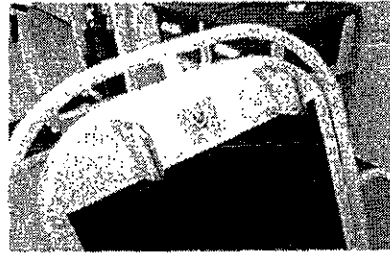
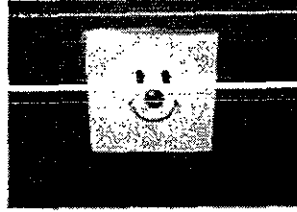
生駒市オリジナルの運動マニュアル



事業所スタッフと共にボランティアも参画して作成

24

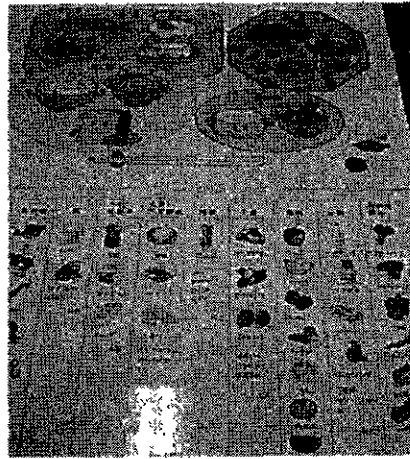
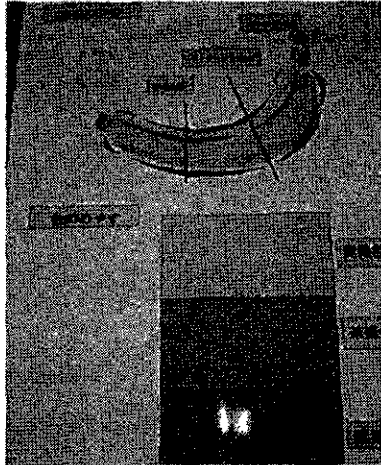
OBボランティアのアイデア



安全マーク 「にこちゃん」

25

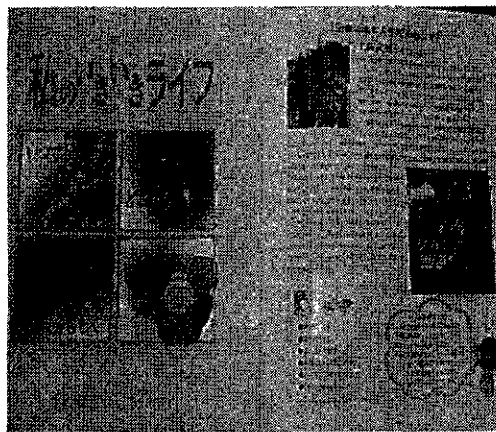
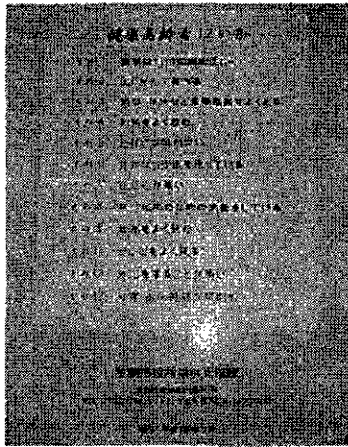
栄養改善は 楽しく実践



「うんち」の観察は健康のバロメーター

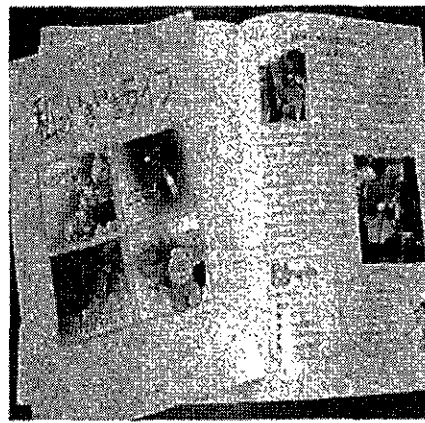
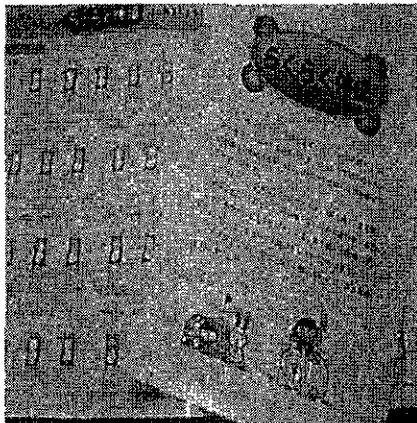
26

介護予防普及啓発事業



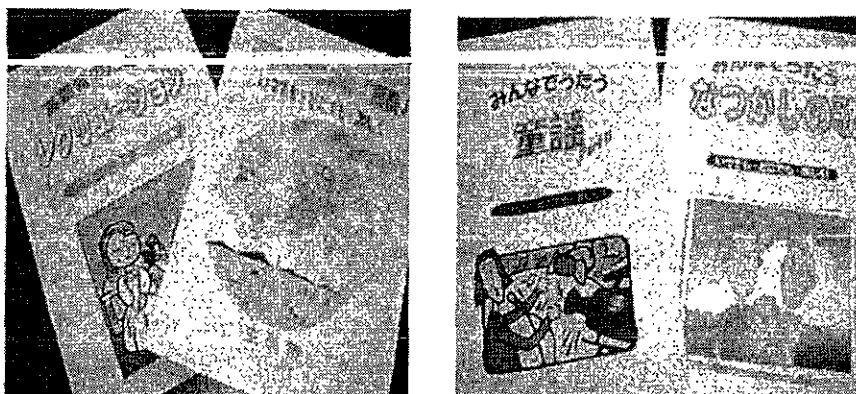
90歳以上の自立高齢者の特集: 介護予防のヒントがもりたくさん

セルフケアに...



「らくらく体操」は坐ってできるセルフケア

ボランティアの活動支援



ボランティアの養成・育成・団体支援に・・・

29

行政が果たす役割について(その1)

- 感受性は行動を起こす『源』であることを大切にする
- 「現場の問題」を把握し、出来ること、出来ないことを明確にして解決策を様々な関係機関・団体・市民と共に考える姿勢をもつこと
- 市民のネットワークをより確立していくために「自助・互助・公助」の考え方が広がっていくよう働きかける（助け合える・話し合える・わかちあえる地域社会の構築）

30

行政が果たす役割について(その2)

- 【介護予防】の考え方を浸透させることに留意

自らが「能動的」に生活形態を変えることができるような施策の展開

(介護予防の普及啓発・6法人への介護予防モデル試行事業・ボランティア育成・マニュアル本やガイドブックの作成・運動指導士の雇用・新規教室の開催・指導者の確保等)

31

ま と め

- 目的と手段とをとり違えないこと
- 自己完結型から3つの協働(共同・協同・協働)作業への転換
- 多角的な視点をもって、ネットワークを広げる
- 常に1年、3年、5年、10年後を想定しながら、様々な社会資源を有効活用できるよう・・・【仕掛け】作りを行うことも必要
- 行政は「量の確保」と「質の管理」

32